

事業所名 博愛こども発達支援センター たくみのお城 I

## 支援プログラム

作成日

令和7 年

3 月

10 日

法人（事業所）理念		2歳から100歳まで あたたく質の高い「在宅医療」と「社会参加への支援」の確立						
支援方針		「遊び込み療法の理論と実践」、「5つの構造化支援(人・音・時間・空間・言葉)」、「自由の構造化支援(構造化された枠組みの中で自由に遊ぶ)」に基づき、実践をします。5領域（「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」）を全て含めた総合的な支援を提供することを基本とし、小集団、大集団、個別での活動を提供します。						
営業時間		9 時	0 分から	学業日17 時 休業日16 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	(学業日の学校へのお迎えのみ)
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	検温などのバイタルチェックや、ご家族からの連絡を通じて健康状態の確認をしています。普段と違う様子などのサインに気づけるように観察し、異常があれば法人内の看護師と連携し対応にあたります。アレルギー食に関しては法人内の栄養士と連携し、除去食の提供や法人内医師と連携し、急変時に速やかに救急搬送する体制を整えています。						
	運動・感覚	わくわくの森での外遊びやレクリエーション、作業・生活・かきかたなどの机上課題を提供します。活動を通して姿勢保持や指示のききとり、手先の細かな動作、手順、目で追う力などを伸ばすように関わります。感覚の特性に合わせた環境調整を行い、本人の能力が発揮できるように支援します。						
	認知・行動	はじめの会・おわりの会、マッチングやCST（コミュニケーションスキルトレーニング）などの活動を通して文字や数字への興味・関心を高めることや語彙を増やし、状況に応じた望ましい行動がとれるように支援していきます。偏食のあるお子さんに対し、安心して過ごせる環境を提供し、見通しを持てるように関わり食べる意欲につながるように支援します。						
	言語 コミュニケーション	はじめの会・おわりの会、マッチングやCST（コミュニケーションスキルトレーニング）、プレイタイム（自由遊び）での遊び込みなどの活動の中で本人の特性に合わせた個別の目標設定を行い、言語コミュニケーションの発達につながる支援を提供します。						
	人間関係 社会性	構造化された活動やプレイタイム（自由遊び）の中で遊び込みを行い、なじみの関係を育て「安心」「信頼」「愛着」を築きます。お友達との遊び込みでは役割分担をしたり一緒にルールを考える経験ができるように支援します。						
家族支援		お迎えの時や連絡帳を通して家族の困り事や相談などに対応します。年に2回のペア・カフェ（家族同士の情報交換の場）を開催し、保護者同士の交流の機会や兄弟児の相談などの機会の提供を行います。また、随時ファミリータイム（個別の相談会）を実施し、家族からの相談への助言などを行います。			移行支援		法人内外の他事業所や放課後児童クラブ等と連携を図ります。こどもの特性や支援内容等の共有を図ります。	
地域支援・地域連携		学校や教育委員会、こども家庭支援センターや他事業所、放課後児童クラブ等との連携を図ります。必要に応じて個別のケース検討のための会議を行います。			職員の質の向上		発達障がいの特性の理解や遊び込み療法、構造化支援などについての勉強会を定期的に開催しています。また、法人内外の研修会にも積極的に参加しています。	
主な行事等		8月：夏祭り 10月：ハロウィン 11月：バスハイク 12月：クリスマス会 1月：年始会 2月：節分 3月：お別れ会 ※ペア・カフェ 6月・2月						